

令和元年6月 南魚沼市議会定例会  
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	9	桑原圭美	3日 (月)
2	5	中沢道夫	
3	8	永井拓三	
4	4	吉田光利	
5	13	岡村雅夫	
6	6	田中せつ子	5日 (水)
7	14	佐藤剛	
8	21	牧野晶	
9	7	勝又貞夫	6日 (木)
10	15	寺口友彦	
11	16	中沢一博	
12	2	梅沢道男	
13	3	目黒哲也	
計		13名	

**【質問方式】**（いずれも質問制限時間は答弁時間を含め 60 分）

**一括質問一括答弁方式：** 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。  
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

**一問一答方式：** 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

**複合型一問一答方式：** 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。



質問 順位	質問 内 容
2	1 農業の置かれている現状について市長の見解を伺う
議席	(1) TPP11などの自由貿易協定の発効は、わが市の農業にも大きな影響を与えると思うが、市長の認識を伺う。
5	(2) 食料自給率の低下は独立国としての存立を脅かす事になると思うが、市長の見解は。
中	(3) 自給率低下の原因は、戦後一貫して続いた農産物の輸入自由化政策にあると考えるが、市長の見解を伺う。
沢	(4) 国連決議の「家族農業の10年」「農民の権利宣言」に沿った対応によって、食料主権の確立が必要と考えるが、市長の見解を伺う。
道	
夫	2 今年度から企業会計に移行した、下水道事業について伺う
	(1) 公表された財務諸表は大変厳しい内容だと思うが、市長の見解を伺う。
	(2) 農業集落排水事業で、不用となる10か所の処理場の簿価はいくらか伺う。
	(3) 一般会計からの繰入金は今後も継続出来るのか。それに対する国や県からの補填はどの程度あるのか、また、国庫補助金も同程度が見込めるのか伺う。
	(4) 県下でも高い使用料だが、今後の料金の方向性について伺う。
(複 合 型 一 問 一 答 方 式)	



質問 順位	質問 内 容
4	<p>1 公共施設等総合管理計画について</p>
議席	
4	
吉 田 光 利  (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>南魚沼市の公共施設は、平成 17 年の合併により機能が重複し、また、老朽化により更新時期を迎えている。施設を有効的に活用し多様化するニーズに応えるためにも、また、財政健全化のためにも、計画的な更新・統廃合・長寿命化を図ることが必要である。長期的な視点をもって平成 29 年に策定された「公共施設等総合管理計画」は、細部にわたり適切であり、大いに評価されるものと考えられる。そこで以下について市長に伺う。</p> <p>(1) 公共施設の機能重複及び分配配置の検討は、いつ、どのように進められるのか。</p> <p>(2) 統合や廃止による総量縮減率最終削減目標 15%は将来の財政負担を考えると目標が低いと思うが、どうか。</p> <p>(3) 具体的な売却・譲与・除却対象施設が計画に示されているが、進捗はどうか。</p> <p>(4) 遊休施設財産の売却について、無償もしくはお金を払って引き取り手を探すマイナス入札方法も必要と思うが、どうか。</p> <p>2 教育委員会・学校教育課移転について</p> <p>昨年、大和庁舎より市民会館の旧図書館スペースに移転が実施された。効果的な業務体制の構築及び大きな財政的效果が期待される。そこで以下について伺う。</p> <p>(1) 学校教育と社会教育の一体的な体制づくりの進捗はどうか。</p> <p>(2) 効率的・効果的な実務遂行と財政的效果の手応えはどうか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
5	1 市政運営について
議席	(1) 市長就任2年半が経過した。市民から託された期間は4年であり、残された任期は1年半だ。再選への構想を温める時期と思うが、総括と抱負の一端を伺う。
13	(2) 財政再建が喫緊の課題と考える。10月に消費税が10%に増税されるが、税収の落ち込みが懸念される。各種事業の遂行、財政再建にどのように影響があると考えているか所見を伺う。
岡 村 雅 夫  (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	2 小中学校のエアコン設置工事の入札について
	(1) 1月30日に執行された関連の入札4案件で、応札が1社であったと財界にいがた5月号で報じられた。「入札の実施についての公告」を読むと、この結果は想定出来たと考えるが説明を求める。
	(2) 「春先の仕事にありつけて良かった。」と下請け業者から聞いている。市内業者に適正な価格で行き渡っているか伺う。
	3 住宅リフォーム事業について  新たに「みんな住マイル」改修補助金としてスタートした。喜ばれている一方で、何人かの方から「受付期間は従来どおりにして頂きたい」、「従来どおり4月1日から仕事が出来るようにして頂きたい」、「納税の確認は従来どおり申込書での同意でして頂きたい」、「補助対象経費50万円以上はハードルが高い」という注文を頂いた。今後の改善点と考えるが所見を伺う。

質問 順位	質問 内 容
6	1 妊娠・出産期から子育てまでの切れ目のない支援の充実について
議席	
6	
田 中 せ つ 子	<p>全国的に出生数の減少が続く中、妊産婦死亡の原因としてマタニティブルーや産後うつが原因とみられる自殺が問題となっている。妊娠中から産後1年間は特にホルモンバランスが大きく変化し、病気リスクの高まりや育児の負担等で精神的に不安定になることも多いと言われている。産後1年間は夜間も授乳やおむつ交換で睡眠不足となり、自分からは相談しにくいいため、周りが変化に気付き専門家による産後ケアにつなぐことが必要となる。</p> <p>南魚沼市でも出生数が減り続け2017年から400人を割る現状となっている。妊産婦の心と身体を健康をサポートし、安心して産み育てられる支援体制の充実は、若者が帰ってこられる南魚沼市づくりにも重要と考える。</p> <p>(1) 市民病院には産科がないが、出産医療機関との情報共有と連携は充分か。</p> <p>(2) 自殺対策計画にある母子保健事業の実施状況と今後の支援強化は。</p> <p>(3) 準備中という「子育て世代包括支援センター」の進捗状況と課題は。</p>
(一問一答方式)	<p>2 男女共同参画社会の推進について</p> <p>平成30年5月23日に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が公布・施行された。地方公共団体も実態の調査及び情報収集等、啓発活動、環境整備、人材育成等について必要な施策を策定し実施するよう努めることとなった。法律ができてもそれだけで女性の立候補者が増える訳ではなく、社会全体で男女共同参画の理念が広がり、女性活躍と人材育成が今まで以上に推進されることが必要と考える。</p> <p>(1) 市の審議会や委員会への女性参画は進んだが、地域への推進強化はどう進めるか。</p> <p>(2) 基本計画の推進体制にある「市民会議」が役割を終えるようだが、その後は市民への意識啓発活動をどう進めて基本計画を実行するのか。計画の変更は必要か。</p>



質 問 順 位	質 問 内 容
7	<p><b>1 自殺対策計画実施の本気度を問う</b></p> <p>(1) 南魚沼市自殺対策計画で特別に対策を強化した施策は何か。</p> <p>(2) 「生きづらさを抱えた子ども・若者への支援の推進」の取り組みを強化すべきではないか。</p> <p>(3) 基本施策の2025年度までの目標値のみでPDCAサイクルを回しながら、計画の数値目標に向かって実効ある推進ができるか。</p> <p>(4) 146事業を関連の「生きる支援」施策と位置付けて進めるが、これらも含め多くの施策の進行管理はどこがどう行うのか。</p> <p>(5) 「いのちを支える自殺対策庁内連携会議」の役割は。</p>
議席 14	
佐 藤  剛	<p><b>2 止まらない人口減少、更に進む高齢化の中で「まちづくり」をどう進めるか</b></p> <p>(1) 市の人口減少、高齢化はどこまで進んでいるか。</p> <p>(2) 小規模高齢化集落または集落維持が難しい集落への対策が必要ではないか。</p> <p>(3) 集落の実態にあった支援が必要ではないか。</p> <p>(4) 集落で暮らし続けるための生活圏の形成について</p> <p style="padding-left: 2em;">①商店（食料品店）の減少に加えて、運転免許証返納等で高齢者は日常生活への不安は大きいと考えるが、どうか。</p> <p style="padding-left: 2em;">②市民バス運行とタクシー併用で「ドア・ツー・ドア」の体制を作れないか。</p> <p style="padding-left: 2em;">③市民の足を確保した上で「小さな拠点」として生活機能集約をすべきと考えるが、どうか。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質 問 内 容
8	1 柏崎刈羽原子力発電所について
議席	(1) 仮に再稼働し、事故が起きた場合、ガソリン、軽油などの燃料は手に入るのか。
21	(2) 冬期の事故の場合に、道路除雪の体制はとれるのか。
牧	(3) 冬期の事故の場合、灯油等で屋根や駐車場を融雪している家庭、事務所の財産は守れるのか。
野	(4) 福島では、放射性物質を含んだ泥などの保管場所確保に苦労している。事故が起き、当市で同様の問題が発生した場合、対応できるのか。
晶	(5) 事故が起きた場合に農地は守られるのか。
	(6) 新潟県原子力発電所事故に関する検証総括委員会では、上記は議論されているのか。
(一問一答方式)	(7) 上記以外の市の懸念は、新潟県原子力発電所事故に関する検証総括委員会で議論されているのか。
	2 人工芝のさらなる整備を
	人工芝のグラウンド利用率は高いと感じる。観光、市民スポーツのためにもっと必要だが。

質問 順位	質問 内 容
9	1 医療行政について
議席	(1) 魚沼基幹病院とゆきぐに大和病院について、「二重行政」との市民の声がある。この点について、市はどのように考えているか。
7	(2) ゆきぐに大和病院も城内診療所も市民病院の組織に組み込み、それぞれを市民病院の出先の診療所という位置付けにできないか。
勝  又  貞  夫          (一問一答方式)	2 地盤沈下の観測体制について  地盤沈下の観測井戸の体制は十分か。六日町駅の西側の観測体制が十分ではないとの指摘があり、観測井戸の新規掘削の提案がなされてきた。この事業に予算が付けられなかったのはなぜか。必要がないとの判断なのか。
	3 防災ラジオについて  防災ラジオの配置と管理は適正か。ホテルや旅館などにはまだ配置されていないと聞くが、このままでいいのか。必要がないとの判断なのか。

質問 順位	質 問 内 容
10	<p>1 清津川分水について</p>
議席	
15	<p>平成31年2月13日に開かれた第20回清津川・魚野川流域水環境検討協議会において、清津川分水が魚野川に放流されなければ南魚沼市の水田に作付けができなくなると、強い調子で訴えるべきではなかったのか。</p>
寺 口 友 彦	<p>2 オレオレ詐欺対策について</p> <p>市が行っている特殊詐欺対策の録音装置無償貸し付けの効果と拡大をどう考えているのか。</p> <p>3 廃プラスチック対策について</p> <p>(1) 廃プラスチックの最後の処理について市はどこまで把握しているのか。</p> <p>(2) プラスチックの使用を減らすために、分別以外に何に取り組むつもりなのか。</p> <p>4 道の駅南魚沼「雪あかり」のさらなる発展について</p>
(一問一答方式)	<p>道の駅南魚沼「雪あかり」に電気自動車用の急速充電設備を設置し、入れ込み数増を図るときではないか。</p>

質問 順位	質問内容
1 1	1 当市における食品ロスの取り組みについて
議席	
1 6	
中 沢 一 博	<p>政府は、家庭での食品ロスの量を 2030 年度までに半減させることを目指しているが、事業者を含め市民一人一人が各々の立場において主体的にこの課題に取り組み、食べ物を無駄にしない、また、まだ食べることが出来る食品については、廃棄することなく、貧困、災害等により必要な食べ物を十分に入手することが出来ない人に提供するなど、できるだけ食品として活用していくことが重要である。</p> <p>そこで、当市の取り組みについて伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 消費者や事業者への普及や啓発について</li> <li>(2) 事業者の取り組みに対する支援について</li> <li>(3) 食品ロス削減で顕著な功績を残した人や団体への表彰について</li> <li>(4) フードバンク活動の支援について</li> </ul>
(一問一答方式)	<p>2 「子育て世代包括支援センター」の開設推進について</p> <p>日本の明るい未来には、子どもの健やかな成長が欠かせない。子どもの健康を守る施策と、子育てしやすい環境づくりを進める大切さを感じる。</p> <p>核家族化や地域社会との関わりの希薄化が指摘される中、妊婦の不安や悩みに合わせて適切な助言・指導を行う、切れ目ない支援体制が求められている。子育て中の母親に対する思いやりを社会全体で育むことも忘れてはならない。昨今の状況を見た時、当市における「子育て世代包括支援センター」の開設を急ぐ必要があると考えるが、市長の所見を伺う。</p> <p>3 「地域おこし協力隊」の現状と推進について</p> <p>人口減や高齢化が進む中、地方に移住し、活性化に取り組む「地域おこし協力隊」の存在感は益々高まって来ていると感じる。</p> <p>そこで、当市の現状と今後の考え方について伺う。</p>

質問 順位	質 問 内 容
1 2	1 新潟県原子力災害広域避難計画に対する市長の評価と認識について
議席	
2	3月議会では、計画はまだ案の段階であり、評価できる段階にはない、との回答だった。平成31年3月29日付で、正式に計画策定がなされたところだが、この避難計画に対する市長の評価と認識について、改めて伺う。
梅 沢 道 男  (一問一答方式)	2 教員の多忙化解消に向けた取り組みについて
	<p>(1) 文部科学省の教員の勤務上限時間に関する指針では、残業時間に例外なく休日労働を算入するとしている。これに対応するには教員の負担軽減が必須となるが、当市の対応について伺う。</p> <p>①タイムカードの導入等の客観的なデータの整備状況は。</p> <p>②上限時間を守るための教員の負担軽減に向けた取り組み状況は。</p> <p>③多忙化解消検討委員会の開催状況とその成果等は。</p> <p>(2) 新学習指導要領では、英語以外の全教科のページ数の1割増や英語学習の充実による3～6年生の授業数の1コマ増、さらにプログラミング教育の必修化等、学習内容の充実や学ぶ量の増加が見込まれるが、どう対応していくのか。</p>
	<p>3 改正健康増進法に対する市の今後の対応計画について伺う</p> <p>受動喫煙対策を強化する改正健康増進法の成立を受け、行政機関の庁舎等については7月1日から屋内全面禁煙となるが、これを受けての南魚沼市の対応計画等について伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
13	<p><b>1 南魚沼市スポーツ健康都市の実現への取り組みについて</b></p>
議席	
3	
目 黒 哲 也  (一問一答方式)	<p>2020年東京オリンピックチケット抽選申し込み受付が開始され、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが間近に迫ってきたことを肌で感じてきている。</p> <p>前回の東京オリンピック開催を契機に、国では1961年にスポーツ振興法を制定し、その後、2011年に全部改正し、スポーツ基本法となった。</p> <p>加えて2015年には、スポーツ庁が設置され、現在は、スポーツ基本計画第2期を掲げ、「スポーツ参画人口」を拡大し、「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むこととし、経済効果、地域振興、国民の健康増進を目指したスポーツ立国へ国家戦略として位置付けている。</p> <p>南魚沼市では、スポーツ庁の発足に合わせて『南魚沼市スポーツ健康都市宣言』を行った。</p> <p>そこで、下記の4点について市長に伺う。</p> <p>(1) 南魚沼市スポーツ健康都市に向けた推進計画とその効果はどうか。</p> <p>(2) 今後の展開として、地域への社会的効果や経済効果を生み出すために、スポーツと景観・環境・文化などの地域資源を掛け合わせ、戦略的に活用することで、まちづくりや地域活性化につなげるスポーツツーリズムの取り組みを目指してはどうか。</p> <p>(3) スポーツツーリズムを推進していくために、地方公共団体とスポーツ団体、観光産業などの民間企業が一体となって組織された「地域スポーツコミッション」を設立したらどうか。</p> <p>(4) 駐車場整備は、スポーツへの訴求効果並びに観光誘客効果となる。そこで坂戸山寺が鼻コース周辺、六万騎山周辺、坊谷山周辺、欠之上小学校跡地、そして銭淵公園・ディスポート周辺の5か所に駐車場整備が必要ではないか。</p> <p><b>2 地域医療特別顧問について</b></p> <p>地域医療対策として、特別顧問を置くようであるが、どのような目的で、どのように進め、メンバー構成はどのようなのか。加えて到達目標はどのように描いているのか市長に伺う。</p>